

指導日時：平成30年10月18日（木）第5校時

指導学級：3年1組（男子10名，女子19名）

指導者：宮城県石巻西高等学校 教諭 熊谷 亜紗

宮城県石巻西高等学校 Can-Do List

Grade	外国語表現の能力		外国語理解の能力	
	Speaking	Writing	Listening	Reading
3	自分がよく知っている話題について、準備した上で1～2分間英語で話すことができる。	自分の感想や意見を整理し、文章構成を意識して書くことができる。	日常生活の身近な話題で、聞きなれない表現が含まれていてもなんとか理解できる	教科書の本文について、1つの段落の要点や内容のつながりを理解することができる。

1 単元名 コミュニケーション英語Ⅲ Lesson 5 Interfaces Break Down Walls

桐原書店 WORLD TREK English Communication III

2 単元の目標

(1) 本文の内容やそれに対する自分の考えなどについてグループ内で話し合うことができる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(2) 「自分たちの町をよりよくする方法」について50語程度の英語で書き、スピーチをすることができる。

【外国語表現の能力】

(3) ブレイン・コンピューター・インターフェイス（BCI）についての英文を読み、テクノロジーと人間との関わりや、その将来性について読み取ることができる。

【外国語理解の能力】

(4) 英語のパラグラフと文構造について理解している。

【言語や文化についての知識・理解】

3 指導にあたって

(1) 単元について

本単元の英文は、ITの先端技術として注目を集めるブレイン・コンピューター・インターフェイス（BCI）について、その原理や、適用の例に関する情報を集めてまとめたものである。BCIは人間とコンピューターを結ぶインターフェイスの最も進化した形である。インターフェイスとは2つのシステムが接する点のことで、コンピューターに関しては、入力をする装置やシステムを指して呼ぶことが多く、例えばマウスやキーボードもその一種である。現在では、身体に障害のある人のために声だけで入力できる音声入力システムや、指や舌の小さな力で入力できるジョイスティック・システムなどの開発も進んでおり、身体に不自由を抱えている人々の役に立つものとして期待されている。テクノロジーと人間との関わりやの将来性について考えさせるような題材になっている。

(2) 生徒の実態

真面目で素直な生徒が多く、熱心に集中して授業に取り組む姿がよく見られる。英語の学習に意欲的な生徒も多く、英文を読み内容を理解したり、英文を書いたりすることが得意な生徒も多いが、英語で話すことを苦手としている生徒も少なからず見られる。ペアワークやグループワークにはほとんどの生徒が真面目に取り組むが、自分の意見を英語で表現することが難しい生徒もいるため、間違いを恐れずに自由に発言することができるよう、発言するときのヒントを与えたり話し合いの時間の作り方を工夫するなど、生徒同士で相談しやすい雰囲気づくりにも取り組みたい。

(3) 指導について

基本的な文法や最低限の英単語、ディスコースマーカの使い方は既に学習してきているため、文章全体の構成や各段落の大まかな流れや主題などを読み解くことには慣れてきた。しかし、読んだ英文の内容を理解した上で、その内容に関して自分なりの意見を考える活動の機会は少なかった。そのため、今回は教科書の題材「よりよくしたいこと」を取り上げ、個々の意見を考えた後、生徒同士で自分の意見を述べたり相談してまとめさせたりする活動を通して、より深い学び合いの場を設けていきたい。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
本文の内容やそれに対する自分の考えなどについてグループ内で話し合うことができる。	「自分たちの町をよりよくする方法」について50語程度の英語で書き、スピーチをすることができる。	教科書本文の概略を捉えることができる。	英語のパラグラフと文構造について理解している。

学習活動における具体の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
本文の内容やそれに対する自分の考えなどについてグループ内で話し合うことができる。	「自分たちの町をよりよくする方法」について英語でスピーチを発表することができる	ワークシートや教科書にある本文の内容に関する問いに答えることができる。	ワークシートで調べてきた新出語句の意味を理解できている。

6 単元の指導と評価の計画（全10時間）

	学習内容	学習活動における主な具体の評価規準	評価方法
第1時	Part 1 導入 新出語句の確認	・ペアワーク・グループ活動において積極的に自分の考えを伝えることができる。 【関心・意欲・態度】 ・ワークシートで調べてきた新出語句の意味を理解できている。 【知識・理解】	観察 ワークシート提出
第2時	Part 1 音読練習 本文の内容理解	・ワークシートや教科書にある本文の内容に関する問いに答えることができる。 【理解】	ワークシート提出
第3時	Part 1 音読練習 本文の内容理解	・ワークシートや教科書にある本文の内容に関する問いに答えることができる。 【理解】	ワークシート提出
第4時	Part 2 新出語句の確認	・ワークシートで調べてきた新出語句の意味を理解できている。 【知識・理解】	ワークシート提出
第5時	Part 2 音読練習 本文の内容理解	・ワークシートや教科書にある本文の内容に関する問いに答えることができる。 【理解】	ワークシート提出
第6時	Part 2 音読練習 本文の内容理解	・ワークシートや教科書にある本文の内容に関する問いに答えることができる。 【理解】	ワークシート提出
第7時	Part 1 Part 2 まとめ	・教科書本文の構成が主題，支持文，結論の3つに分かれていることを理解できる。 【知識・理解】	ワークシート提出
第8時	Show and Tell スピーチを書く	・自分たちの町をよりよくする方法について自分の意見を英語で書くことができる。 【表現】	観察 発表用原稿提出
第9時	Show and Tell スピーチの発表練習	・自分たちの町をよりよくする方法について自分の意見を英語で書いたものを読むことができる。 【表現】	観察 発表用原稿提出
第10時 【本時】	Show and Tell スピーチの発表	・自分たちの町をよりよくする方法についてグループ内で自分の意見を発表し，自分たちの意見について話し合うことができる。 【表現】	観察 発表用原稿提出 評価シート提出

7 本時の指導

(1) 題材名 Lesson 5 Interfaces Break Down Walls (Show & Tell)

(2) 本時のねらい

自分たちの町をよりよくする方法についてグループ内で自分の意見を発表し、自分たちの意見について話し合うことができる。 【表現】

(3) 本時の評価規準

評価の観点	具体的評価基準	Aとする具体的な姿	Cの生徒への具体的手立て
外国語表現の能力	自分たちの町をよりよくする方法についてグループ内で自分の意見を発表し、自分たちの意見について話し合うことができる。	正しい発音と適切な声量で、アイコンタクトを心掛けながら自分の意見を発表したり、話し手の意見を聞いたりすることができる。	グループメンバーの発表や聞く姿勢を見ることで、自分の話し合いの態度をよりよくするヒントに気づかせる。

(4) 学習指導上の工夫

グループ内で発表する場合の注意点や評価される部分を説明し、発表者はその点を意識しながら発表するよう促す。また、聞き手側の生徒はその点に注目して発表者の意見を聞き、自分が意見を発表する際にはより良い発表ができるように心がけさせる。また、自分の意見を発表した後、グループとしての意見をまとめる話し合いの場では、話し合いの時に使えるフレーズや聞く側として留意する点を事前に示したり、リーダーや計時係などの役割をそれぞれに与えたりすることで、自らの役割を果たすことも目標とさせたい。

また、今回はより具体的な意見を出せるように、「自分たちの町をよりよくする方法」というテーマを「子どもにとってよりよい町」「若者にとってよりよい町」「高齢者にとってよりよい町」の3つの視点に分けて、生徒それぞれがそのうちの一つの視点を選択し、同じ視点を選んだ生徒同士で話し合わせる。その後、別の視点を選んだ生徒同士のグループを作り、各視点で考えた意見を共有する場を設けることで、自分とは違う視点を選んだ生徒と自分が選んだ視点とを比較し、自分の考えを振り返る機会を作らせたい。

(5) 準備物

教科書、タイマー、ワークシート、座席表（別紙、6ページ目）

(6) 本時の展開 (50分) 【10時限中の第10時】

段階	学習活動と主な発問(●予想される生徒の反応)	形態	指導上の留意点	評価
導入 5分	1. あいさつ 英語であいさつをする。 2. 本時の活動内容の説明 本時の流れと目標を確認する。	一斉 一斉		
<p>Today's Goal : We can talk about how to make our city better.</p>				
展開 40分	3. グループ内で発表 「自分たちの町をよりよくする方法」 について、それぞれの視点ごとに自分の 意見を一人二つずつ発表する。 4. グループで話し合う 発表し合った自分たちの意見を元に、 グループ内で相談し、意見をまとめる。 5. 各グループ内で話し合った内容を、 別のテーマで話し合ったメンバーに向け て発表する 自分のグループ内でまとめた考えと、 別のグループの考えを比較し、「自分た ちの町をよりよくする方法」について改 めて考える。	グループ グループ グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者はグループのメンバーに聞こえる声で自分の意見を伝えるよう促す。 ・聞き手は発表者の方を見て、意見を聞き取る。 ・自分たちの考えた意見の中から良い考えを選んだり、自分たちの意見を合わせた意見を考えたり、自由に話し合わせる。 ・発表後、時間があればそれぞれの意見について話し合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい発音と適切な声量で、アイコンタクトを心掛けながら自分の意見を発表したり、話し手の意見を聞いたりすることができる。【表現】
まとめ 5分	6. 発表の振り返り 話し合いを振り返り、感想を書く。 感想を発表する。 7. 次回予告 次回の授業について説明する。	個人 一斉 一斉		

(参考資料)

座席表とグループ編成

・グループ構成

A~E (5人グループが5つ) と, F (4人グループが1つ) で合計6グループ

・グループごとの視点

A と B → How to make our city better for children (子どもにとってよりよい町)

C と D → How to make our city better for young people (若者にとってよりよい町)

E と F → How to make our city better for elderly people (お年寄りにとってよりよい町)

・座席表① A~F の6班にわたる (グループごとの視点で話し合い)

(教卓側)

E4	E1	C4	C1	A4	A1
E5	E2	C5	C2	A5	A2
空	E3	D3	C3	B3	A3
F3	F1	D4	D1	B4	B1
F4	F2	D5	D2	B5	B2

・座席表② 1~5 の5班にわたる (A~F グループごとで話し合った内容を発表する)

(教卓側)

D3	A3	D2	A2	D1	A1
E3	B3	E2	B2	E1	B1
F3	C3	F2	C2	F1	C1
E5	C5	A5	E4	C4	A4
空	D5	B5	F4	D4	B4